

協育NEWS

「協育」という波紋を広げます

会報誌第34号

2019年3月31日発行

発行：NPO法人 大分県「協育」アドバイザーネット



3月8日の大学最後の講義



NPO法人大分県協育アドバイザーネット理事長

中川忠宣

4月からは「毎日サンデー！」。なんとなくほっとしていますが、46年間の公職からの退任は寂しくもあります。3年前に大分大学高等教育開発センターを定年退職しましたが、「これまでの『協育ネットワーク』の構想をCOC+事業で生かして欲しい。」という大学からの依頼があって、COC+特任教授として勤務してきました。先日(3月8日)、「地域協育ネットワーク」をテーマにして大学最後の授業を関係者の方々にお話しをさせていただく機会があり、これまでの仕事やNPO法人の活動などを振り替えらせていただきました。資料を作りながら「多くの方々と交わり、育てていただいたなあ」とつくづく思いました。しかし、私には「NPO法人大分県協育アドバイザーネット」という多くの仲間が居ることが、これからの人生の糧ともなる安心感もあります。今後は、会員の皆さんの所へ伺いながら、もっともっと仲間を繋いでいく活動をしていきたいと思っています。

別府市立石垣小学校学校運営協議会について

安達 美和子

～運営協議会の活動～

運営協議会の取組に週一回、地域の住民が1年生の朝の時間を見守る「朝先生」の活動があります。これは、数年前、運営協議会の話し合いで、担任が教室を空ける朝の時間に子どもたちの見守りをしてくれる方がいると安心であるという希望を受けて、昨年の9月にスタートしました。昨年度は、1年生、本年度は7月に2年生を対象に実施し、9月から現1年生を対象に実施しています。協議会が推薦する民生委員や元教員など6名が3クラスに1～2名ずつ入り、授業が始まるまでの30分間、宿題や提出物、授業の準備を促す声掛け、読み聞かせ等、子どもたちの話し相手となります。1週間にたった1回のかかわりですが子どもたちは、とても楽しみに待っていてくれます。町で出会うと「朝先生」と挨拶をしてくれます。私たちは子どもたちに関われることで「生きがい」をいただき、子どもたちに会うために自身の健康にも気を配っています。



～鹿児島県鹿屋市視察～

1月に鹿児島県鹿屋市から中学校・小学校の先生方が運営協議会の視察に石垣小学校を選びお越しいただきました。自己紹介後、鹿屋市立小の校長先生がどんな活動をしているのか、協議会の構成メンバーは、また、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めるために何が必要か等、質問が投げかけられました。「地域とともにある学校づくり」を目指して教育改革は行われていますが、協議会メンバーが学校と対等な立場で、ともに汗を流し子どもたちのために知恵を絞って1つ1つ実現していく。そのためには、まずは教員の理解があって、次に子どもたちに受け入れてもらい、そして、保護者や地域社会の協働へつなげていく。「朝先生」は、運営協議会の活動を見える形の1事例で、さまざまな活動等とおして相互理解と信頼関係を築いていくことが責務と思っています。急激な成果を期待するのではなく、急がずじっくり時間をかけて先生方とタッグを組んでこつこつと。視察は、あっという間の1時間半でしたが、意見交換することによって自分たちの活動を振り返る良い機会となりました。





発達障がいがあってもなくても 大人も子どもも

生きるヒントを学ぼう！ 2019年1月20日(日)

NPO法人「共に生きる」の主催で開催、代表理事の江藤裕子さんは協育ネット会員です、協育ネットも後援団体です。生重さんの講演でこれからの社会や地域は変わる現在の職業、の多くは今後無くなるであろう、今後10～20年程度で約47%の仕事が自動化となっていく経済発展と社会的課題の解決を両立が大切、SDGs(持続可能な開発目標)は目標になって行くだろうとお話でした。



(生重 幸恵講師)

特定非営利活動法人「共に生きる」
<http://tomoniikiru.com/>

SDGs(持続可能な開発目標) 17の目標&169ターゲット
https://www.unic.or.jp/news_press/features_backgrounder/31737/



第12回 地域発『活力・発展・安心』デザイン実践交流会

梅の花が咲くころに開催されるこの交流会も12回目を迎えます。 2019年2月16日(土)

毎年地域の皆さんの協力で手作り感のある大会です。今年のテーマは**地域での活動を交流し、その仕組みを考えよう。～子どもから大人まで、教育からまちづくりまで～**基調報告として中川理事長が「地域学校協働活動とは！」とこれからの学校のかたちを提案、いままです以上に学校と地域・家庭の協働が大切になっていくと講演。そこから住みやすい地域社会が出来上がっていく、第2部では数人の班に分かれ学生・地域住民・教育関係者がいろんな意見を交換し地域社会の協働について考えていきました、ワークショップの結果をもとに新しい仕組みを共有して参加者の皆さんが自分の地域活動の指針になればいいですね。

今回の交流会には協育ネット会員の皆さんもぜひ梅の花開くころ梅園の里に集まりましょう！



(ワークショップの様子)



(みんなで共有)

理事会の報告

2月14日(木) 今年度最後の理事会を開催しました

議 題

- ① 地域発「活力・発展・安心」デザイン実践交流会について
- ② 平成31年度移行の活動方針について
- ③ 平成31年度以降の理事体制について
- ④ 平成30年度の事業報告

今回の理事会は4月9日(火)

活動方針については会員の皆さんとの交流を今まで以上に増やし団体の活動を共有出来るように進めていく。理事体制に入れ替えがありますので総会にて承認決定となります。



事務局よりお知らせ

協育ネット定期総会の案内

日 時 6月8日(土)15時から17時

会 場 別府市男女共同参画センターあすべっぷ

18時から別府で懇親会を開催

広報部よりお知らせ

第38回 大会 中国・四国・九州地区生涯教育実践研究交流会

期 日 2019年5月18日(土)・19日(日) 情報交歓会5月17日(金)

会 場 福岡県立社会教育総合センター

リーフレット(発表詳細・申込用紙)は4月上旬です

詳細が分かりましたらHPに掲載します。

会員Facebookサイトでも随時お知らせします。

4月上旬にはこちらのサイトからネット申込が出来るようになります

福岡県立社会教育総合センター <http://www.fsg.pref.fukuoka.jp/center/>



ネット申し込みが
簡単ですよ！

